

伊丹市まちづくり基本条例 特集号

平成28年7月1日
伊丹市 市民自治部 まちづくり室 まちづくり推進課
〒664-8503 伊丹市千僧1丁目1番地
TEL.072-780-3533 FAX.072-784-8130

まちじょう “MACHIJO”って なんやろう!?



伊丹市マスコット たみまる

Q1. 伊丹市まちづくり基本条例

「まち条」っていったいどんな
もの?なぜつくられたの?



A. まち条は、伊丹市のまちづくりについての理念や基本原則、参画と協働、まちづくりの担い手のそれぞれの役割など、まちづくりのルールを定めた条例のことです。

まちづくりのルールはまちの特性によつてそれぞれ違つてきます。伊丹には伊丹に合つたルールが必要だということで、この条例がつくられました。



まちづくりのルールというと…。
たとえばこんなことがあります。



福祉や教育、環境や子育てなど、市の課題は色々あるけど、市はどんな方向で取り組みを進めていくのかなあ?など、私たち市民一人ひとりが市政に関心をもつことが大切ね。

また、市も情報を市民にわかりやすく伝えてくれないといけないよね。市が重要なことを決める時には、私たち市民も市に意見を出すことができるのね。



伊丹には、地域の行事や市内でやっているイベントなど、市民が企画や運営の担い手として関わっているものがたくさんあるよね。

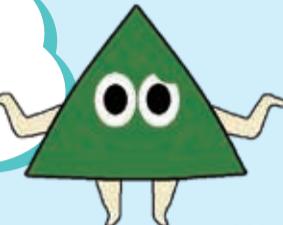
また、ボランティア活動など、市民同士の支え合いもこれからはさらに重要になるだろうな。市民が自主的にいきいきと活動することによって、伊丹をわくわくするような魅力的なまちにしていこうよ。



私たち市民の役割、議会の役割、市長や市の職員の役割、それぞれ役割は違うけれども、それぞれの立場で協力しあって、まちづくりに取り組んでいくことが大事なんだよね。

Q2. 「まち条」はどのように つくられたの?

Q2. 「まち条」はどのように
つくられたの?



A. 市民会議「まちづくり基本条例をつくる会」における、約1年間の話し合いを通じてまとめられた提案素案をもとに、平成15年にまち条を策定しました。

また、まち条は、社会情勢の変化に応じて改正するために、4年以内に1度見直すこととなっています。これまでに3度見直しを行つており、平成28年3月には、3度目の見直しにより、まち条を改正しました。



←まち条見直しの
市民会議のようす



3回目の見直しに 参画しました!

白岩 久嗣 さん

50代男子(サラリーマン)代表。3回目の見直し市民会議に参加(後に参画)しました! まちづくり基本条例ってなんやろか? がスタートの私…。それだけに、最後まで興味深くやらせていただきました。

一番印象に残つたのは、私だけでなくほとんどの人がまち条を知らないこと。これでは参画する気があつても出来ないのではないか! という思いが沸きあがり、現在PR委員として活動中です。



白岩さん(左奥) まち条PR委員会メンバーとして出前授業にも参画していただきました。

まちづくり基本条例劇場



まち条がよくわかる紙芝居「まちづくり基本条例ってなあに」を作成しました。YouTubeでご覧いただけます。

■熟議編



■パブリックコメント編



■市民委員編

